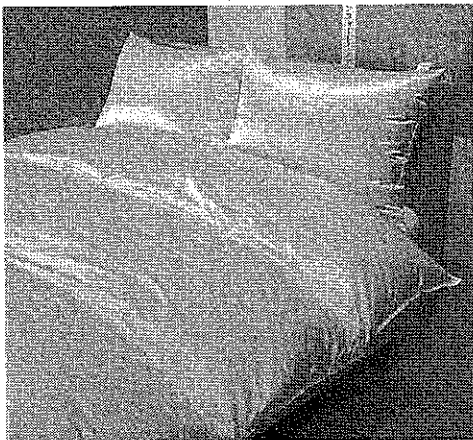


# 快適を数値化、新選択基準導入



「カナダ産の品質の良さを知ってほしい」。この4月に來日した、カナダ羽毛協会のマイケル・デ・ラ・プレイス会長は、日本での普及に名乗りを上げた。高級羽毛の中で、これまで日本の年間輸入量はハンガリー産約210ト、ポーランド産130トに対して、カナダ産は3・8ト程度。同月、日本支部を設立。普及にはカナダと日本両国の製販官学が連携し、品質保証に加え、快適さを数値的表現した選択基準、さらに資源を無駄にしないアフターケアといった画期的なシステムを構築している。

# へ浸透羽毛産カナダ



希少性が高いため数量は限定される(イメージ)

世界第2位の広大な大地の29社。厳しい基準を生グースの「ブークティ地、農業立国でもあるカクリアした会員企業の製ナダでは、自然と共存共品に付けられる「ダウンスタとタック」ゴロニアル栄しながらグースやタックマーク」は信頼のマーククを飼育している。カナとして確立している。しる。例えば、最も希少性の高い「カナディアンアタ分析している。顧客の住宅構造や窓の大きさ、床材、暖房器具の温度など寝室環境と布団の軽さや側地の好みを入力すれば、1人ひとりに合う掛け布団が選択できる。

努力してきた。会員は原今回、最高級の「カナ料、加工メーカー、小売ディアンアイター」、野

## 高額ウエアが売れ筋

### カインドウエア 秋冬は品質にも焦点

カインドウエアは、レもあるのでは。特にミセス層の反応が良く、アクアスキュータムをはじめ、バックやストールなどのフォーマル雑貨が好調。中でも雑貨関連は、売上げ伸びシエアの10%を超えるまでに成長している。

た仕様、さらに繊細なシヤカード織りをフォーマルに反映させる。

一方で「百貨店に消費者が戻り始めているが、プラスの仕掛けをしないと、また落ちるかもしれない。ミセスだけではなく、団塊ジュニアに向けた企画も強化する」とした。

## ダウンとツイード

### 加藤商事 10年冬物

婦人アパレルの加藤商事(大阪)は、10年冬物企画として、ダウンや中綿ジャケットの増強を計

## テイストミックスで新提案

### 東京スタイル「ラヴドゥローズ」 異素材ドッキング、技術駆使

東京スタイルが今秋から日本、中国で同時スタートのレイヤードパリエー



インテリア(大阪、深江は、今月からキスタイルパン売している。

## テキス

## 日本代表は川瀬さん